



エネルギーキャリア ～進捗状況報告～

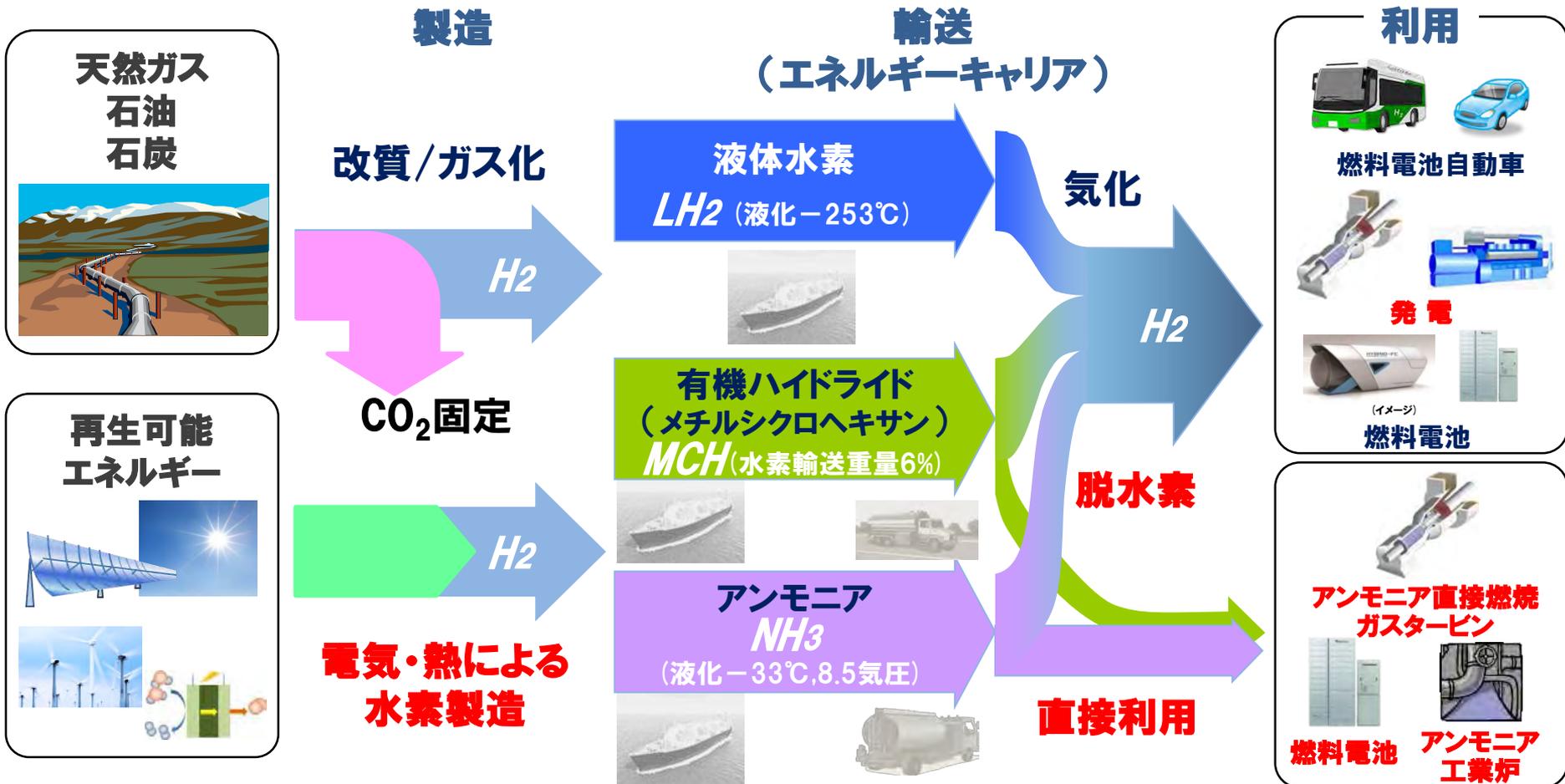
平成27年 10月21日

内閣府

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)

全体概要 ～ 「エネルギーキャリア」課題の取組み

〈CO₂フリー水素バリューチェーンの構築〉



- 水素は様々なエネルギー源から製造可能で、燃料にも電気にもなる。
(大幅なCO₂排出削減が可能)
- 水素は低熱量の気体であり、運搬・貯蔵が困難。水素を大量輸送する技術
(エネルギーキャリア)や水素をエネルギー源として利用する関連技術の開発が重要。

運営体制

【内閣府】

内閣府 村木プログラムディレクター(PD)

サブプログラムディレクター(サブPD)

PDを補佐

秋鹿 研一:東京工業大学 名誉教授/放送大学 客員教授
塩沢 文朗:住友化学 主幹

SIPエネルギーキャリア推進委員会

(H26年度:2回, H27年度:1回)

内閣府・経済産業省連携戦略会議

(H26年度:3回, H27年度:2回)

経産省事業との情報交換を実施
事務局(内閣府・経産省)

【JST】(管理法人)

プログラム会議

(H26年度:1回, H27年度:1回)

研究開発計画策定等の実務的議論を実施
村木PD(議長)、サブPD、外部専門家、関係官庁、内閣府、事務局(JST)

**水素関連研究開発に関する
情報・意見交換会(第2回)**
SIP及びNEDO事業の関連する
研究者を一堂に集めた
ボトムアップの意見交換
(9月30日開催)

運営・評価委員会

(H26年度:4回)

公募の審査および
テーマ進捗評価等

知財委員会

(H26年度:1回, H27年度:1回)

成果発表・特許出願
等の方針決定・調整

戦略策定WG

(H26年度:3回, H27年度:4回)

CO₂フリー水素
バリューチェーン構築に
向けたシナリオ策定

中間報告(案)の作成

水素技術実証検討会

(H26年度:2回, H27年度:2回)

オリンピック・パラリンピック
を契機としたデモン
ストレーション案の検討

H27.6 報告書作成

PD/サブPDと事務局の連絡会議(毎月開催)

トップからプロジェクトの進捗管理をする者までの間で、課題認識を常に共有化
→プログラム推進に係る課題等を議論し、迅速な対応を図る

各種WG等の実施実績と今後の予定

内閣府・経済産業省連携戦略会議

経産省事業との情報交換を実施
事務局(内閣府・経産省)

第1回	H26.10.28
第2回	H27.1.28
第3回	H27.3.20
第4回	H27.6.24
第5回	H27.9.30

継続した連携

戦略策定WG

CO₂フリー水素バリューチェーン構築に
向けたシナリオ策定

第6回	H27.6.12
第7回	H27.6.29

中間報告(案)の作成

本日、中間報告(案)の内容を説明

今後の予定

- ① 中間報告(案)をもとに、研究開発の進展、経済社会環境の変化に応じて**随時見直しを行い**、研究開発計画の見直しなどの際に**適切なインプット**を行えるようにする。
- ② オリパラ実証の可能性について**見極め**を行う。

平成26年度末評価などを踏まえた改善、工夫など

改善点①	規制改革および国際標準化への取組みの強化
改善内容	✓ 欧米の水素関連設備、規制に関する 調査を実施予定 (9月米国訪問済み、11月欧州の水素関連企業などを訪問予定)

工夫点①	大きな枠組みでの研究開発の推進
工夫内容	✓ 各省庁が取り組んでいる 水素関連研究開発を俯瞰して整理 ✓ 府省庁 連携会議 を開催し（年4回程度）、効率的な推進を図る ✓ SIP-NEDO事業参画者と 情報・意見交換会を実施

工夫点②	アウトカム目標達成に向けた、より戦略的な研究開発
工夫内容	✓ 戦略策定WGにてCO ₂ フリー水素バリューチェーンに係る シナリオを検討 しつつ、今後の研究開発への反映を目指す。 (シナリオ検討内容のブラッシュアップを継続的に実施)

工夫点③	オリンピック・パラリンピックでの実証デモへの対応
工夫内容	✓ 水素技術実証検討会にて、オリンピック・パラリンピックを契機とした デモンストレーション案を取りまとめ 、関係者を対象に提案を実施。

水素関連研究開発の全体を俯瞰

【水素・エネルギーキャリア導入シナリオの検討・検証】

水素が社会に導入される条件の明確化および導入シナリオ策定。技術目標の妥当性確認や戦略策定に活用。

